

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用条件や待遇などについて、社長、副社長が中心となり、差別のない体制を構築している。 ・待遇に差別がないことを確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント禁止について、相談窓口を明確化している。 【予定】ハラスメントに対応した就業規則へ変更する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働時間は経営者が管理しており、労働時間が偏らないよう仕事の割り振りを行っている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人労働者は採用していない					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
人権・労働	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生方針を策定し、会議室へ掲示している。 ・運輸安全マネジメントを実施している。 ・安全運転講習への出席を推奨している。					3			8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・労働安全方針にメンタルヘルスについて記載し、管理体制の充実、健康確保対策の推進を図っている。					3												
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・高齢者も安心して働ける環境を整備している。操作の簡単な重機を導入している。					5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・業務上必要な免許や講習の受講料の補助を行っている。必要な研修について受講料を働きかけている。					4	5.5		8 9									
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている。					5.5			8.5 10.2 10.3									
	10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・社員の健康診断には経営者判断でオプション追加を行い、健康管理に力を入れている。					3			8									
	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・マニフェストにより適切に管理している。												11.6	12.4	14.1			
	12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】温室効果ガスの排出量把握への取組を開始する。								7.3					13				
	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・設備等導入の際に環境に配慮した設備を積極的に採用することで排出の抑制に取組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・エンジンオイルなどの廃油の廃棄は、信頼できる業者に廃棄を依頼している。					3.9		6.3				11.6	12.4					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1 SDG 1 減貧	2 SDG 2 農業・食料安全	3 SDG 3 健康・福祉	4 SDG 4 教育	5 SDG 5 性別平等	6 SDG 6 水の管理	7 SDG 7 エネルギーの供給	8 SDG 8 労働・産業開発	9 SDG 9 産業・创新・インフラ	10 SDG 10 不平等の削減	11 SDG 11 住まい・都市開発	12 SDG 12 資源循環・持続的消費・生産	13 SDG 13 気候変動対応	14 SDG 14 海の豊かさ・生物多様性	15 SDG 15 陸地の豊かさ・生物多様性	16 SDG 16 平和・調和・不偏不倚	17 SDG 17 パートナーシップ・目標達成
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・使用済みのエンジンオイルについては厳重に管理し、流出による環境汚染に繋がらないよう配慮している。							6.6									15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・事務所で使用する紙は、できる限り裏紙を再利用している。															12.5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・散水車には、自然の水をタンクに貯蔵し利用している。						6.4 6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9		6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2					13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】方針を明文化し、周知を実施する。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】方針を明文化し、周知を実施する。															16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許・知的財産に該当する権利は所有しておらず、自社における開発もない。						8.2 8.3	9										
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・担当者を決めて取組んでいる。															16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5		8	10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】今後作成を開始する。		3						8	9	10						17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・Gマークの認定を受け、安全の確保に取組んでいる。			3.9										12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・山砂販売では、「山砂基準試験結果報告書」を公開して、安全性の透明度を高めている。										9								
31	社会貢献活動	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6							12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工事内容を周辺住民に通知し、安全に配慮している。 ・運送時、道路におけるスピードに配慮している。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ						4								11		14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・企業スローガンを制定して事業に取り組んでいる。 ・給与明細へメッセージを印刷して社員に周知している。								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	【予定】社内方針を作成し、事務所へ掲示する等の対応を実施する。																	16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当者を決めて対応している。																	16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・取引先との安全会議に出席し、情報交換を実施している。																	16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																		16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																		16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ										9		11		13	13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証、認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセルンス認定、信州福祉事業所認証制度、評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県に申請するには、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定